



過去は変えられる？

「皆様のご理解・ご支援に感謝申し上げます」の巻

佐渡市立河崎小学校長 濱田 清明

もう少しで平成28年度が終わります。改修工事や統合準備、職員指導などで、皆様にご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。また、素直で明るい子どもたち、協力的な保護者・地域住民の皆様、そして学校関係者等により、この一年間を過ごせることができましたことを深く感謝申し上げます。

さて、「清明」という私の名前の由来は、平安時代に活躍した「安倍晴明（あべのせいめい）」から名付けられました。この「安倍晴明」は、映画やドラマにもなるくらい有名です。（ちなみに、河崎小学校の給食では、昔話のCDを聞きながら食べていますが、その中にも出てきます。）映画では、能楽師の野村萬斎が演じ、その年の映画興行成績第1位（邦画ライブアクション部門）になりました。ドラマでは、歌舞伎役者の市川染五郎や歌手の元S.M.A.P（木村拓哉ではなく）稲垣吾郎が演じるなど、そうそうたるスター（イケメン）がこれまでに主演を演じてきました。



安倍 清明

さて、前置きが長くなりましたが、「安倍晴明」は、「先々を予測する」能力があり、平安の都で起きる様々な問題や事件を解決したそうです。名前負けをしている私には、「先々を予測する」能力は残念ながらありません。しかし、私にもちょっとだけ能力があります??? それは、「過去を変えられる」能力です。「何を言っているのだ。校長はおかしくなったのか?」「過去は変えられるわけがないだろう。」と思われた方がいるかもしれません。正確に言いますと、「**（過去に起きた出来事は変えられませんが、）起きたことへの受け止めや意味づけを変えることができる**」ということです。「それなら、私もできるよ。」という人がたくさんいるのではないのでしょうか。

今、流行の心理学者のアルフレッド・アドラーは、「人が不幸だと思うような経験をしたとしても、**本人の受け止め・意味付けしただけで全く違ったものに見え、そのあとの行動も違ってくる。**」と主張しています。例えば、「子どもの頃、親に何も買ってもらえなかったので自分の子ども時代は不幸だった。」と考える人は、過去の出来事を理由として、言い訳ばかりの人生を過ごします。この出来事を「親のおかげで、今、不必要な衝動買いをすることは無い。」と**受け止め・意味づけ**ることにより、**言動が変わり、その後の人生が豊かになる**というのです。



アドラー



松下幸之助

経営の神様と知られている松下幸之助は、「貧乏・小学校卒・病気がちだったから成功できた。」と言っています。「小さい時、自分の家が貧乏だったから、その後、お金を大切にできた。」「小学校しか行けなかったから、その後、いろいろな人から素直に学び、それらを経営に生かした。」「小さい時から病気がちだったから、その後、仕事を人に頼み、人を動かせる力がついた。」と、起きた出来事をこのように**受け止め・意味づけ**し、成功者となりました。

冒頭でも記載しましたが、私の学校経営は、至らないところが多々あります。しかし、過去の出来事を理由に、言い訳ばかりをすると、周囲へも悪影響を与えます。よって、「あの出来事があったから、今の私がある。」「あの出来事があったから、今まで以上に保護者の方と関係が深くなった。」などと考えています。このように考えることができるのも、河崎の子どもたち・保護者・地域住民、そして、学校関係者の皆様のおかげであります。

最後になりましたが、皆様にとって平成28年度はどんな年でしたか。いろいろな出来事があったのではないのでしょうか。起きた出来事への**受け止め・意味づけ**をし、言動を変え、今後の人生を豊かにしませんか。同様に、行く先不透明な時代を生き抜いていく子どもたちが、起きた出来事への**受け止め・意味づけ**ができ、豊かな人生を送ることができるために、大人がこれまでの体験談を語りながら子育てをしてきませんか。

一年間、ご支援を賜り、本当に感謝申し上げます。皆様の幸多きことをお祈り申し上げます。